



広報

みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

びらとり

No.741
2025.

2

2月2日 第27回全道PKグランプリ



令和7年二十歳を祝う会

1月12日(日)、中央公民館で「令和7年平取町二十歳を祝う会」が開催され、華やかな振袖やスーツに身を包んだ31名が、来賓や家族からの祝福を受け、二十歳の門出を迎えました。旧友たちと晴れ姿での再会に、会場のいたるところでうれしさいっぱいの笑顔がはじけ、記念の一日を写真に収める出席者たちは和やかに貴重な時間を過ごしました。夢と希望に満ち溢れた未来に向かって挑戦を続ける二十歳の皆さんが、今後も健康で生き生きと活躍されることをお祈りいたします。



二十歳の誓い
遠藤 帆乃さん 川端 勇汰さん



記念品贈呈 木村 汐稀さん



お礼の言葉 福澤 悠さん



～二十歳を迎えて一言～



『平取（みんな）の夢を未来（あした）につなぐ』

第6次平取町総合計画 実施計画が答申されました！

総合計画審議会では、町長からの諮問（意見・見解をもとめること）を受けて、実施計画（案）の内容を審議します。

今年度は、12月3日(火)と26日(木)に審議会が開催され、12月26日に総合計画審議会山田 一明 会長、櫻井 幹也 副会長から町長へ答申書が提出されました。



＜総合計画審議会の構成＞

※委員は各団体からの推薦（一般公募除く）

平取町教育委員会
平取町農業委員会
平取町社会福祉協議会
平取アイヌ協会
びらとり農業協同組合
平取町商工会
沙流川森林組合
平取町自治振興会
連合北海道平取地区連合
一般公募

＜第6次平取町総合計画実施計画の内容＞

実施計画には全部で193件の事業が掲載されていましたが、今年度の実施計画見直しで40件の新規事業が掲載され、合計で233件となりました。主な新規事業をお知らせします。（実施計画の詳細はホームページに掲載しています。）

事業名／事業内容	
国際先住民族フォーラム	 アイヌ文化の継承と多文化共生を目指すなかで、国内外の事例を学び取り組むべき施策を考えるとともに、様々な分野の専門家から言語・知的財産・文化環境・先住民族の権利などについての発表やディスカッションを行う国際フォーラムの開催（1993年、2005年、2019年に当町で開催）
アイヌ語復興事業	 アイヌ民族の歴史、文化、伝統に関する認識と理解を幼少期から深めながら、アイヌ文化の継承を目指し、二風谷保育所におけるアイヌ文化教育の指導の充実を図る。
おためし地域留学 in 平取町	道外の中学2・3年生を対象に、2泊3日でその地域ならではの体験を通して平取町を知ってもらい、地域みらい留学に興味をもった中学生が道外から平取高校へ進学を考える契機とする。

事業名／事業内容	
平取町UIJターン新規就業支援等事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	東京23区（在住者または通勤者）から北海道内に移住し、就業した場合（就業要件を満たした方）に移住支援金を交付する。
空き家・移住相談窓口設置事業	地域おこし協力隊制度を活用し、「空き家・移住相談コーディネーター」を市街地の空き家に配置した相談窓口を設置するとともに、空き家バンクを充実させ、住民や民間との連携により、移住希望者への支援を強化する。
ふるさとワーキングホリデー事業	首都圏など町外に在住する若者が2週間程度滞在し、働いて収入を得ながら平取町の暮らしを学び、体験することで、平取町の関係人口の拡大と将来的な移住・定住の掘り起こしを進める。
地域おこし協力隊（民間企業雇用型）事業	民間企業と協働して地域協力活動に取り組む地域おこし協力隊を募集する。最長3年の期間満了後も企業への定着を目指す。
住まいのゼロカーボン化推進事業	
 既存住宅の性能向上と省エネ・再エネ性能に優れた住宅ストックの形成により、町のゼロカーボンシティ実現を促進することを目的とし、省エネ改修として電気ヒートポンプ、ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯器、空気清浄機能・換気機能付きエアコンの導入経費、再エネ設備導入として、住宅用の太陽光発電設備および蓄電池設備の導入経費を補助する。	
事業承継支援補助事業	地域の雇用や地域活動の衰退を防ぐため、町内での事業承継の促進に商工会から推薦のあった町内事業者に対し、各種申請書類に係る事務経費および店舗等の設備の費用等を補助する。
中小企業・小規模企業借入資金利子補給金事業	町内に事業所を有し、商工会が推薦し融資を受けた小規模事業者等が借り入れた「小規模事業者経営改善資金」の利子補給を行う。
スマート農業推進事業	
 高齢化と人手不足の進む生産現場に先駆的なAI・ICT技術を導入に向け、農業用ドローン（産業用マルチローター）操縦士資格などの技能取得、生産性や作業性の向上を目指すための研修参加等の経費助成する。	
ペーパーレス会議整備事業	会議に使用される紙や印刷にかかるコストを削減し、長期的な経費節減を図る。資料の保管や管理スペース削減、会議資料の迅速な共有を行えるように整備する。
平取町公式LINE構築事業	スマホ等のアプリ「LINE」を活用し、電子による情報伝達及び各種申請、アンケートなど町民利便性を向上させる。
水道スマートメーター導入事業	水道検針業務の効率化、検針員の担い手不足を解消する。

1/4 平取消防 出初式

1月4日(土)、平取消防出初式が中央公民館で行われ、防火への誓いを新たにしました。

厳しい寒さのなか、約60名の消防団員が整列し、日高西部消防組合副管理者 遠藤町長、西前消防長、本間消防団長の巡閲を受けました。

その後の式典では永年の功績のあった団員等に対し、表彰状や感謝状が授与されました。



2/6 義経神社 初午祭

今年最初の午の日である2月6日(木)に「初午祭」が斎行され、軽種馬生産者や競馬関係者、また愛馬家などが愛馬息災、先勝必勝を祈願しました。

「初午祭」は、五穀豊穡や商売繁盛などさまざまなご利益を祈るもので、義経神社では馬を大切にしたいとされる源義経を祀ることから、馬の健康と活躍を祈願する伝統行事として昭和48年頃から斎行されています。



令和6年度『かわまち大賞』に決定!!

北海道で初めて平取町が受賞

『かわまち大賞』は、河川空間を活用し、地域の賑わいを創出した、他の模範となる先進的な「かわまちづくり」の取り組みを国土交通大臣が表彰するもので、令和6年度の大賞に「平取町かわまちづくり」が、北海道で初めて選ばれました。

平取町は、アイヌ文化の保存・継承を通して、地域の歴史文化体験などを積極的に推進し、「かわまちづくり」支援制度を活用した沙流川の歴史・文化の伝承の場の整備、「平取町アイヌ施策推進地域計画」に基づいた町域全体で伝統文化の体験や学習の場に欠かせない河川空間の賑わいを効果的に創出する取り組みを続けています。

伝統的な舟おろしの儀式「チブサンケ」の継続的な伝承活動をはじめとする、沙流川での効果的な取り組みが高い評価を受け、初の受賞となり、2月6日(木)に、中野 洋昌 国土交通大臣から遠藤町長に表彰状が授与されました。



中野大臣（中央左）と記念撮影



◆森と人を育てるコンクール表彰◆

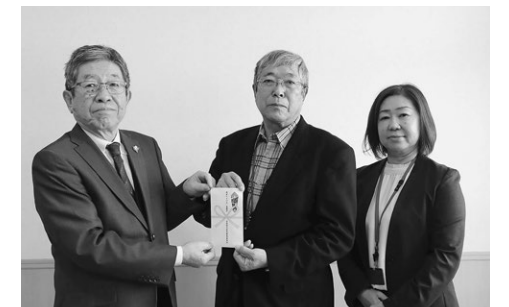
ゼロカーボン北海道の実現に貢献する森林の整備・保全を推進し、地域で適切な森林整備を実践する森林所有者や木育活動に取り組む団体に贈られる令和6年度森と人を育てるコンクール 森林所有者部門で、町内でカラマツの適切な管理・育成に取り組む川上 廣行 氏(荷負)が優秀賞を受章し、12月16日(月)に日高振興局森林室 高田 伸哉 室長から伝達されました。



◆歳末助け合い義援金寄贈◆

一般社団法人室蘭建設協会、日高建設協会より、日高地方共同募金委員会に歳末たすけあい義援金が寄せられ、12月23日(月)、平取町共同募金委員会 泉澤会長より平取福祉会(理事長 山岸俊紀 氏)に手渡されました。

この義援金でこころのホームふれないに車いすが購入されます。



◆社会福祉貢献事業 備品贈呈◆



苦小牧地方法人会平取支部(会長 小林 史明 氏)より、1月9日(木)、弥生保育所(弥生福祉会 理事長 小向 文夫 氏)に玩具・遊具が贈られました。

この事業では、毎年、地域の福祉施設に必要な備品を寄贈しています。



FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ(イタリア・トリノ開催) スノーボード男子ビッグエアで

ふじや りょうじ 藤谷 瞭至 さん(札幌大学2年)金メダル!!



「大学生のオリンピック」と称され、国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催し、2年に一度開催されるFISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ2025(1月13日~23日)に、スノーボード日本代表として藤谷 瞭至 さん(札幌大学2年)が出場し、男子ビッグエアでバックサイドトリプルコーク1440の大技を決めて見事優勝、金メダルを獲得しました。また、スロープスタイルでも4位となり、好成績を収めました。1月23日(木)に役場を訪れ、遠藤町長に優勝の報告をしました。

この冬季大会は、11競技が実施され、57の国・地域から2,000名を超える大学生アスリートがエントリーし、日本からは、北京冬季オリンピックでフィギュアスケート銀メダリストの鍵山 優真 選手など男子56名、女子55名の学生がTEAM JAPANとして出場しました。



左:表彰台でTEAM JAPAN が祝福(中央)
右:金メダルを手にした優勝報告

地域みなさんに知ってほしい 地域みらい留学のこと

無事に冬休みを終えました

・地域みらい留学生全員が無事に帰省先から戻り、1月15日から学校が始まりました！
1年生として過ごせるのもあと2ヶ月ほど。これからも元気に毎日を過ごしてほしいと思います。
写真は、戻ってきた地域みらい留学生たちと一緒に雪だるまを作った時の一コマです。

カーリングに初挑戦

・学校の授業でカーリングに初挑戦！最初はつるつるのリンクの上であたふたし、転がったりもしていましたが、すぐに慣れて「楽しい♪」と言っていました。学校の授業でカーリングができるのはカーリング場がある平取町ならではの体験をたくさんしてほしいと思っています。

寮で誕生日会を行いました

・1月に誕生日を迎えた地域みらい留学生の誕生日会を行いました。この日は寮母さんが用意してくださったご飯と、「はれのあさ」さんのケーキをみんなでいただきました♪
平取町で過ごす地域みらい留学生の成長を、地域の皆さまに見守っていただけると嬉しいです。

受験が始まり、中学3年生向けの説明会は終了しましたが、現在は中学2年生（新・中学3年生）向けのオンライン説明会を随時開催しています。
来年度に向けて、つながりづくりができるよう頑張ります！
また、各SNSでも地域みらい留学生の日常生活や学校の様子を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします♪
（高校魅力化コーディネーター 森山）



Instagram



Facebook

教育委員会からのお知らせ

平取町・日高町キッズ交流事業

チャレンジアトラクション

1月19日(日)、平取町と日高町の小学4～6年生の交流を目的とした平取町・日高町キッズ交流事業を開催しました。今回は、道内初の次世代型アトラクションパーク「伊達大滝CHILDHOOD」(伊達市)を会場に、両町合わせて24名の児童が参加し、グループごとの活動を通して交流を深めました。

会場内はひんやりしていましたが、真冬の寒さをものともせず汗だくになりながら、普段経験することができないSASUKEを彷彿させる数々の大型アトラクションを体験し、大満足の1日となりました。



エアバックジャンプ



右上：フィアブリッジ

中央：ロール&スイングゾーン

左下：Wipeout

日高のゲレンデにくりだそう！！

初心者スキー教室



冬休み期間中の運動不足の解消と体力づくりを目的に1月15日(水)、町内の小学生を対象とした「初心者スキー教室」を日高国際スキー場で開催しました。スキー・スノーボードを初めて滑る子どもから、かなり経験を積んだ子どもまでの男女35名が参加しました。

一部の地域では、例年にない積雪量となりましたが、日高西部では雪不足により、教室の開催が危ぶまれました。当日の朝には、若干の積雪もあり良好なコンディションとなりました。



初めて滑る子どもたちは、リフトに乗ることを目標に繰り返し練習し、講師の方たちのおかげで最終的には全員が第1リフトに乗り、滑りおりてくることができました。
スキー・スノーボードの楽しさにふれ、基礎技術を学び楽しんだ1日となりました。

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、
その翌日も休館



新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書（小説・エッセイ）】

『デートピア』／安堂ホセ
『楽園の楽園』／伊坂幸太郎
『昇華』（機捜 235）／今野敏
『直木賞を取らなかった男』／新堂冬樹
『ゲーテはすべてを言った』／鈴木結生
『秘仏の扉』／永井紗耶子
『二十四五』／乗代雄介
『潮音』（1）／宮本輝
『PRIZE（プライズ）』／村山由佳
『老人初心者の青春』／阿川佐和子
『忘れ得ぬ人忘れ得ぬ言葉』／五木寛之

【児童書】

『スクールハラスメント』／神内聡
『じぶんでよめるぎょうじずかん』／成美堂出版編集部
『幻獣&妖怪タッグ最強王図鑑』／木下昌美
『知って極める！ラーメンのすべて』／ラーメンのすべて編集部
『ゴロゴロヤマネコ不動産』／藤重ヒカル

【一般書（その他）】

『江戸時代を知る、楽しむ。』／永井義男
『阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか』／阪本 真由美
『「ほどほど」にできない子どもたち』／ジェニファー・ウォレス
『ぜんそく』／福永興彦
『鍼灸師・マッサージ師・柔道整復師になるには』／笹田 久美子
『シニアひとり分のラクチンお鍋』／村上 祥子
『子どもがバドミントンを始めたら読む本』／廣瀬 栄理子
『矢部太郎の光る君絵』／矢部太郎

【絵本】

『いちごりら』／麻生かづこ作 かねこまき絵
『おやつどろぼう』／阿部結
『シロナガスクジラ』／加藤秀弘・文 大片忠明・絵
『そつえんするってことは』／中川ひろたか作 あおきひろえ絵
『ハンバーガオー』／丸山誠司
『ひろい海にぼくたちは生きている』／長倉洋海

図書館カレンダー

2月・3月

日	月	火	水	木	金	土
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

雑誌のリサイクル市

保存期間の終了した雑誌（2022 年発行分）を、利用者の皆様に提供します。
お好きな雑誌をお持ち帰りください。

■3月1日（土）～3月9日（日）

■対象者 中学生以上

■冊数 制限なし

ただし、「すてきにハンドメイド」「キルトジャパン」のみ、希望者の先着順
お一人様2冊までとなります。

★エコバッグなどがあると便利です。



古本リサイクル市

雑誌のリサイクル市にあわせて、
今年は除籍した図書も提供します。
ご自由にお持ち帰りください。

■3月1日（土）～3月30日（日）

■冊数 制限なし

■内容

小説（一般書）、実用書、児童書、
絵本など。
出版年が古い物がほとんどです。
昔なつかしい本が見つかるかもしれません。

【お問い合わせ】平取町立図書館

□ 電話 01457-4-6666
□ FAX 01457-4-6871
□ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp
■Web ■携帯



すこやかだより

保健福祉課からのお知らせ

生活習慣や環境要因により個人差はありますが、日常的に質（睡眠休養感）・量（睡眠時間）ともに十分な睡眠を確保することにより、心身の健康を守り、生活の質を高めていくことは重要です。健康日本21（第三次）では、ライフステージごとに睡眠に関する推奨事項をまとめるとともに、質・量ともに十分な睡眠を確保するに当たっての参考情報をテーマごとにまとめています。個人差はあるものの、世代によって適正な睡眠時間、睡眠の質を上げるため

よい睡眠とは？



睡眠とところ・からだの健康
生活の中で必ず訪れる睡眠という時間。実は、ここからからだの健康に深く関係しています。
睡眠不足が続くと、脳の機能低下、免疫力の低下、ホルモンバランスの乱れなどに引き起こされ、不調をきたします。人は、人生の3分の1を眠って過ごします。しかし、日本人の平均睡眠時間は7時間22分と先進国3か国中、最も短い睡眠時間でした。最も身近な生活習慣である睡眠にもっと目を向けてみませんか。

よい睡眠習慣の「コツ」



に推奨されることが変化していきます。詳細は、厚生労働省HP内「健康づくりのための睡眠ガイド2023」をご覧ください。
（QRコードはこちら）

眠ろう！と努力しない。人間には、生体リズムが備わっています。ズバリ！強い眠気を感じたときに睡眠のベストタイミングです。このリズムを整えるコツは…

- ◇起きたら 太陽の光を浴びよう！
- ◇朝食を食べよう！
- ◇日中は身体と頭をなるべく使って、昼夜のメリハリをつけよう！
- ◇午後の眠気をうまく逃がそう！ 昼寝は30分以内15時まで。
- ◇夕方以降は明るすぎない照明を！ 布団に入ってからスマホ・パソコンの使用は控えよう！

眠くなければ、いったん布団から出てみることも良いでしょう。布団の中で眠れない時間を過ごすことは苦痛です。眠れない時間に楽しみを用意しておき、自分の好きなことをして過ごすことも良いです。もし、眠れぬ夜を過ごしても、起きる時間はできるだけ同じにしましょう。よい睡眠のコツを続けてリズムを整えていくことで、同じ時間帯に眠くなっていく可能性が高くなります。

よく眠れない…が続いたら…

睡眠は、健康状態のバロメーターでもあります。睡眠障害（不眠症、睡眠時無呼吸症候群、むずむず脚症候群等）やこころの調子が悪いなど、専門職に相談する必要があるときもあります。睡眠の問題が続いたら、自己解決しようとせず相談しましょう。

平取町では、こころの専門家による「こころの健康相談」を実施しています。こころの調子が悪いなど相談を希望される方は、問合先までご連絡ください。

【お問い合わせ】
保健福祉課保健推進係
（ふれあいセンター112）
☎4・6112

★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

■次回 3月6日（木）

【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■毎月第一木曜日に運行します。

■貫気別支所・振内支所（青少年会館）で返却できます。



ふるさと納税寄附

令和6年12月寄附件数・寄附金額
4,727件 111,080,100円

令和7年1月寄附件数・寄附金額
365件 12,182,000円

令和6年度累計
 (4月1日～1月31日まで)
11,896件 265,429,500円

檜の実俳句会

遠き日や母手作りの梅酒かな
 木枯らしの笛聞きながら眠る夜
 油揚げ狙いカラスも午祭り
 冬帽子好きな物しかかぶらない
 大惨事夜には凍る春時雨
 軒下の飯粒さがす寒雀
 リハビリに励みし日々や日脚伸び
 梅薫や氷に春の夢描く
 鹿のこゑ廃墟の旨き梁を打つ
 初午に無事を祈って一礼し
 枯枝に雪の花咲く冬の朝

内海 綾子
 遠藤 紫光
 加藤 えい子
 川上 八重子
 熊谷 厚子
 千葉 俊子
 長野 新一
 野口 勢津子
 古久保 李莉
 道政 サツ子
 渡辺 正子

まちの人口と世帯数

		(前月比)
人口	4,437人	(2人)
男	2,188人	(0人)
女	2,249人	(2人)
世帯数	2,380世帯	(3世帯)

※令和7年1月末現在の住民基本台帳による

戸籍の窓口

大切な地域の風景「文化的景観」

北海道平取町〈アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観〉は、国の重要文化的景観のひとつに選ばれています。

『平取町のバス停に地域住民の景観認知をみる』

紫雲古津の南端に「荷葉摘」というバス停があります。もともとの意味はニナラ・チミ・プ(台地・を左右にかき分ける・もの)という沢名ですが、集落名称であるニナツミコタンを示す地名としても用いられています。

安政5(1858)年に沙流川流域を訪れ、地域の暮らしや地名を詳細に記録した松浦武四郎の日誌には、「門別川上流のクッタラ付近に人家が6軒ある。100年前までは沙流川すじのニナツミにあったが、こちらの方が生活に便利なので引っ越してきた・・・」という説明があります。また、大正6年に刊行された『平取外八箇村誌』では、ニナツミの元々の場所はペナコリ(現荷負)の少し下流側(二風谷側)のあたりで、シカ猟の利便性を図るために門別川流域に集落を移した後、明治19年の勧農政策により、現在の紫雲古津の南端に移住したと記されています。



旧ニナツミコタン跡地周辺
 (右側は二風谷ファーム)



道南バス「荷葉摘」バス停
 (右側奥に「くろべこ」)

川向を流れるシラウ川の河口の少し下流の台地は、ニナチミプと呼ばれています。明治31年におこった沙流川の大洪水の時に、荷葉摘から移住してきたと伝えられています(『沙流郡のアイヌ語地名I』より)。一部の人はその台地に集落をつくり、もう一部の人は現在のシウンコツの地に集落をつくったと記録されています(『平取村開村五十年史』より)。

荷葉摘の景観形成を学ぶことで、私たちは明治以前の生業やその後の農業政策、自然災害に向き合ってきた暮らしの実態を深く知ることができます。住民の暮らしの変遷を、バス停の名称から学べるのは少し意外と思われかもしれませんが、実はそういう場所が平取町内のいたるところにあります。また、そのほかにも町内には、私たちが郷土史を学ぶための建物や宗教施設、石碑などが多く所在します。そのひとつひとつに、地域の深い歴史と住民の思いがあります。

文化的景観の保全は郷土史や地域産業、文化継承などを知るためのツールにもなります。アイヌ語地名や歴史的建造物なども含めた地元の財産を今後も大事にしていきます。

◆ご寄贈・地域貢献活動に感謝します◆



株式会社 出口組(代表取締役 出口直冲氏)より振内小学校において、はたらくクルマ見学会の開催、校舎窓ガラスの清掃作業をしていただきました。



(有)振内自工(代表取締役社長 瀧 博明氏)より、12月20日(金)に振内小学校、振内中学校の全児童生徒および教職員にクリスマスケーキが贈られました。



2月2日(日)、二風谷ファミリーランドに全道各地から97チームが集結、応援にかけつけた家族やグループなど約900名が、冬ならではのPK合戦で大いに盛り上がりました。強豪チームや常連チームが揃い、優勝賞品「びらとり和牛10万円相当」獲得を目指し、各ゴールで熱い真剣勝負が展開されました。

ナイスシュートや好セーブに大きな歓声や思わぬプレーに爆笑するなど、参加者の笑顔があふれる大会となり、昼食には「びらとり和牛&黒豚」の焼肉も振舞われ、冬のびらとりを満喫していただきました。



5度目の優勝 JJ (旭川)

義経雪あかり 2月1日



義経雪あかり（平取町商工会主催）がふれあいセンターびらとりで行われ、大勢の家族連れで賑わいました。寒いなか、うどんとココアが振舞われ、恒例のビンゴ大会では、豪華景品をめぐり、子ども達の大きな歓声と熱気が溢れました。